



IUFRO-J NEWS

No. 37 (1989.6)

就任に当って

IUFRO-J 議長 小林 富士雄

昨年10月山口博昭前議長のご退職に伴い、本年4月の機関代表者会議のご承認を得て、議長をお引受けすることになりました。会員皆様のご支援を得ながら、本会の活動を有意義なものにすべく微力を尽したいと存じます。

ユフロJ活動の原点はなんといっても1981年の日本大会であり、この大会の大成功を機に世界の目が日本に注がれ、それをうけて若い研究者達の視野が世界に拡がり始めたのだと思います。これからは世界各地で行われる研究集会にユフロJ会員の参加が益々増加することは勿論、日本での研究集会も日常的に開催されるようならなければなりません。

ユフロは申すまでもなく機関加盟によって成立つ組織ではありますが、ユフロJはユフロ(本部)に正式加盟していない機関(主として公立林試)にも参加してもらっています。これらの機関に属する研究者の方々にもユフロ活動に積極的に参加できるようにユフロJはお役にしたいと思います。

ユフロJニュースは世界でもユニークな出版物であり、ユフロ会長も大きな関心をもっています。(Jニュース No. 36 会長メッセージ参照)。この機関誌を通じ日本の林業研究が世界とつながるように努めたいと思っております。皆様のご協力・ご支援を切にお願いする次第です。

ユフロ学術賞の募集

来年1990年8月にカナダ・モントリオールで開催される第19回ユフロ世界大会において表彰されるユフロ学術賞の募集が行われている。ユフロ学術賞募集はIUFRO NewsのNo. 60において1989年3月末締切と公告されたが、締切日が8月31日までに延長となった(IUFRO News No. 62)。

応募要領等は従来と同様である。即ち応募資格はユフロ加盟機関に属する45歳未満の研究員で、自分が所属する機関の長またはユフロ Subject, Project のリーダー(又は代理)の推薦状を必要とする。応募用紙はユフロ加盟機関の長あて送られている筈であるが、必要あればユフロJ事務局に申出られたい。

(小林富士雄)

研究集会などのお知らせ

S 2. 01. 12 (Canopy Processes) が今秋研究集会を開催

Div. 2 の S 2. 01. 12 は他のサブジェクトグループと共催で今秋下記の研究集会を開く。

テーマ：樹冠と林冠における生態生理的過程の動態
(Dynamics of Ecophysiological Processes in Tree Crowns and Forest Canopies)

場 所：アメリカ合衆国，ウイスコンシン州，リーネランダー

日 時：1989年9月24—29日

この研究集会は1985年10月に、つくばの森林総合研究所で行われた研究集会 (Crown and Canopy Structure in Relation to Productivity) が基になり、それを発展させ、その後編にあたるものである。

森林の生産は林木の複雑な構造と機能および環境の相互作用によって決まるが、その要素を葉、枝、幹のレベルで解析しようとするものである。この研究集会の目的は、樹木と森林の生産過程をより正しく把握するために、樹冠と林冠の構造と機能の関係に関する最近の研究成果を紹介し合い論議を深めようとするものである。次のトピックスに従って論文が発表される。

- 1) 樹冠の幾何学的解析と林冠構造
- 2) 枝の構造と機能の関係
- 3) 樹冠の光合成と呼吸
- 4) 炭素の配分と収支

5) 樹冠の炭素と窒素の交互作用

6) 樹病を含む生産過程へのストレス効果

日本からも森林総合研究所北海道支所の金沢洋一氏をはじめ3、4件発表される予定である。

なお、本研究集会は下記の共催で行われるものである。

S 2. 01. 12 (Canopy Processes)

S 2. 01. 14 (Cold and Drought Hardiness)

S 2. 01. 15 (Whole Plant Physiology)

USDA-Forest Service, North Central Forest Experiment Station

本研究集会に関する問い合わせは下記へ。

Dr. J.G. Isebrands

USDA-Forest Service

North Central Forest Experiment Station

Forestry Sciences Laboratory

P.O. Box 898

Rhineland, WI 54501

USA

または、

茨城県稲敷郡茎崎町松ノ里1

〒305 森林総合研究所生産技術部

藤森 隆郎

TEL 0298-73-3211

(森林総研生産技術部・藤森隆郎)

「マツのさび病」(S. 2. 06-10) 国際会議

9月18—22日、バナフ、アルバータ、カナダ

IUFRO と Canadian Forest Service はつぎのトピックスで第3回国際マツのさび病会議を開催する。

1. 分類、生活環、分布
2. 宿主—寄生者相互作用
3. 流行病
4. 抵抗性試験とスクリーニング法
5. 寄生菌、昆虫、動物の相互作用
6. 被害予測、影響評価と損害推定
7. 管理と防除

8. 研究協力と情報網

ポスターセッション (会議期間中)

野外旅行：サスカチュワン横断地域に半日 (会議中日：9月20日)。ジャスパー—エドモントン—スモーク湖までの会議後旅行も可能。

講演集は Canadian Forest Service が発行。

会議世話役：Yasu Hiratsuka, Northern Forestry Centre, Canadian Forestry Service, 5320 122 St. Edmonton, Alberta T6H 3S5, Canada.

「森林昆虫の個体群動態」(S 2. 07-06) 国際会議

9月4-7日, エデンブルグ, イギリス

「森林昆虫の個体群動態」というタイトルで会議を開催する。この会議は食葉性害虫についての Edinburgh Research Station の将来の研究を直接援助するために開催される。この会合はヨーロッパ, 北アメリカとそのほかの国の昆虫についての研究を引き寄せるであろう。格別な強調は昆虫-植物そして昆虫-天敵相互作用の研

究に対する実験的, 分析的アプローチにおける最近の発展におかれる。郵送先名簿にのりたい方あるいはペーパーポスターを発表されたい方はつぎに連絡ください。

Dr. A.D. Watt NERC Institute of Terrestrial Ecology, Edinburgh Research Station, Bush Estate, Penicuik, Midlothian EH 260 QB, Scotland.

「森林昆虫の個体群動態」(S 2. 07-06) 国際会議

8月13-19日, アバカン, ソ連

「いろいろな昆虫摂食ギルドと宿主植物との相互作用」というタイトルで行う国際集会在1989年8月13日-19日南シベリア, アバカン(ソ連)である。この集会はUSSR State ForestsのChairman, Dr. Alex Isaevが組織し, Division 2の3つのIUFRO Working Party(森林昆虫の個体群動態, S 2. 07-06; 穿孔性昆虫, S 2. 07-02; 昆虫に対する木本植物の抵抗性機構, S 2. 05-06)が協賛する。研究発表が3日間, 野外エクスカーションが2日。この集会では昆虫ギルドの個体群戦略の進化とギルドの特性に基づいた害虫管理戦略の検

討のほかには宿主樹木に対する昆虫ギルドの摂食適応とそれに関連した時空的動態の総説や事例を集める機会になる。組織委員会はすべての参加者を歓迎し, この集会在すべての科学的社会的期待に沿うことを希望する。

申込先: Dr. V.G. Soukhovolsky, Secretary of the Organizing Committee, Institute of Forests & Wood, Siberian Branch USSR Academy of Sciences Krasoyarsk, 660036, USSR.

(森林総研森林生物部・田村弘忠)

IUFRO 第2回木材工業における作業環境に関する国際会議

本会議は Division 3 P 3. 03-04 (Ergonomics in the Timber Industry) によって開催されるもので, 場所はフィンランドの Lappeenranta で, 会期は1989年8月29日-31日の3日間である。会議の主な内容(main areas)は次の通りである。

1. 木材工業における研究, 開発および技術的進歩について
2. 化学的有害物質による障害
3. 騒音および振動
4. 換気
5. 災害防止
6. 防止技術および測定
7. 生理的精神的作業負荷およびストレス

本会議に参加・討論御希望の方は6月15日までに下

記の宛先にお申込み下さい。

Prof Risto Juvonen, Conference Chairman
Helsinki University of Technology
Laboratory of Mechanical Wood Technology
SF-02150 ESPOO
Finland
Telefax + 358-0-4514277

なお会議についての内容に関する書類および申込み用紙等は, 下記にありますので御希望の方はお知らせ下さい。

問合せ先: 東京大学農学部附属演習林研究部
(電話)812-2111 内線 5496

大里 正一

(東京大学農学部・南方 康)

Div. 5 1989年の会合予定

第2回太平洋木材解剖学大会が、S. 5. 01. 02 と国際木材解剖学会太平洋地域部会の共催で次のように行われます。

日時 10月15日～21日

場所および事務局

Dr. Florentino O. Tesoro

Director and Convener of the Conference

FPRDI, College, Laguna 4031 Philippines

Tel. 2360, 2377, 2586

テーマ

1. Wood quality evaluation of industrial tree plantation species (ITPS)
2. Wood structure and quality of the Dipterocarpaceae
3. Properties and utilization of lesser-used/ lesser-known species (LUS/LKS)
4. Wood anatomy, identification, ecological and fossil anatomy
5. Wood formation, ultra structure, cytology
6. General anatomy (roots, barks, vines)
7. Wood quality, dendro-chronology
8. Techniques, technology, image analysis
9. Anatomy of the monocotyledons (bamboo, rattan, oil palm, coconut and other erect palms)

日程

15 October Arrival and registration

Sunday

16 October Registration and opening

Monday

Plenary session (Invited papers):

Wood anatomy, the state of the art
Structure-property relationships of
wood as they affect and use

17 October

Tuesday

Plenary session

Session 1 *Wood quality assessment of ITPS and LKS*

Session 2 *Structure-property relationships*

18 October

Wednesday

Plenary session

Session 3 *Forestry, secondary wood formation, wood pathology*

Session 4 *General topics*

19 October

Thursday

Plenary session

Session 5 *Cell wall development, ultrastructure, dendro-chronology*

Session 6 *Wood identification, systematic and ecological wood anatomy*

20 October

Friday

Plenary session

Session 7 *Anatomy, property assessment of monocotyledons (bamboo, rattan, erect palms)*

Business meeting and

Closing ceremony

21 October

Saturday

Post conference

field trip

22 October

Sunday

Departure

講演原稿締切り 8月30日

ポスター要旨締切り 9月15日

参加費 US\$ 60

詳細ならびに申込については下記にご連絡下さい。

森林総合研究所木材利用部 木材特性科長 緒方 健
(0298-73-3211 内線 573) または林業科学技術振興
所 須藤彰司 (03-264-3005) (須藤彰司)

昭和 63 年度 IUFRO-J 機関代表会議報告

今平成元年 4 月 5 日、東京大学農学部図書館会議室において 25 機関の代表が出席して開催され、全ての案件が承認された。

出席機関および氏名(順不同、敬称略)北海道大(霜鳥)、岩手大(石橋)、山形大(塚原)、宇都宮大(前田)、筑波大(大場)、東大林(南雲)、東農大(中田)、日大(片岡)、東京農工大(塚本)、新潟大(竹内)、信州大(木平)、静岡大(岩川)、岐阜大(大内)、名古屋大(片岡)、三重大(飛岡)、京大林(神崎)、京大林産(代理)、島根大(北尾)、高知大(永森)、九州大(須崎)、鹿児島大(今永)、琉球大(幸嘉)、関東林木育種(栄花)、王子林木育種(野堀)、日林協(湯本)、森林総研(小林、小沼、松田)

開会に当り、小林富士雄ユフロ理事(ユフロ-J 前幹事長)より、ユフロ-J 議長に就任の挨拶が以下のようにあった。

山口博昭前議長の後任として、その任を継いだ。近年、地球規模における環境保全への関心が高まり、森林に対する人々の期待が増大する中で、世界の科学者と共に森林研究の諸活動に参加する意義の深さを改めて感ずる。IUFRO-J の活動は機関誌発行を含め各国の注目をあびており、今後一層の活動の強化と、参加機関の連携を図っていきたい。

引続き、小林前幹事長の後任として、小沼順一(森林

総研)が承認され、事務局担当松田敏誉(森林総研)が紹介された。

会議次第に従って、先ず昨年 9 月、米国オレゴン州で開催された IUFRO 理事会の概要が、小林理事に代って出席した信州大学、木平教授より報告された。主な内容は、カナダ大会に関するもの、IUFRO 100 年記念大会が 1992 年ベルリンで開催されること、および第 4 部会と第 6 部会の再編成問題等についての説明(J-news No. 35 参照)であったが、特に留意すべき点は、カナダ大会での部門毎の発表スケジュールが決ったことで、講演希望者は SG、WG の各リーダーと緊急に連絡をとる必要があるとの報告であった。

次いで議事に入り以下の案件が承認された。

議題 1) 昭和 63 年度事業報告

- (1) IUFRO-J NEWS の発行
No. 34, No. 35 (各 1300 部)
- (2) 会員の現況(平成元年 3 月 30 日現在)
A 会員 31 機関 943 名(学生 1 名を含む)
B 会員 12 道府県 15 口
C 会員 6 名

議題 2) 昭和 63 年度会計報告

- (1) 一般会計収支決算報告(別掲の通り)
- (2) 特別会計経理決算報告(")
- (3) 会計監査報告

(収入の部)

昭和 63 年度一般会計収支決算書

(平成元年 3 月 13 日)

科 目	収 入 予 算 額	収 入 決 算 額	備 考
前年度繰越金	533,067	533,067	
会 費			
62年度未納分	5,000	5,000	
63年度会費	1,040,000	988,500	
A会費	960,000	913,500	
B会費	75,000	70,000	
C会費	5,000	5,000	
元年2年度分 前納C会費		2,000	1名は次々年度分まで前納
雑 収 入	2,000	725	
合 計	1,580,067	1,529,292	

(支出の部)

昭和63年度一般会計収支決算書

(平成元年3月13日)

科 目	支出予算額	支出決算額	備 考
情報活動費	645,000	412,100	IUFRO-J NEWS NO. 34, 35の印刷 NO. 33, 34, 35の発送費
会 議 費	100,000	40,500	62年度ユフロ-J 機関代表会議費
旅 費	300,000	0	
雑 費	80,000	9,700	
文房具代等		4,650	
切 手		2,000	
払込手数料		3,050	
予 備 費	50,000	0	
次年度へ繰越金	405,067	1,066,992	
合 計	1,580,067	1,529,292	

昭和63年度特別会計経理決算書

(平成元年3月13日)

科 目	予 算 額	決 算 額	税 引 利 息	現 在 高
前年度繰越金 A	6,038,713	6,038,713	165,116	6,203,829
" B	815,802	815,802	22,308	838,110
" C	1,232,544	1,232,544	*33,426	1,265,970
" D	472,600	472,600	*12,818	485,418
合 計	8,559,659	8,559,659	233,668	8,793,327

*印は今期会計監査後3月17日に満期更新した。

63年度支出の部決算で繰越金が予算額に対し大幅に増えた理由は、J-news 36号の印刷費が次年度送りになったこと、ユフロ理事会出席旅費の不実行および事務局雑費の節減によるものである。

会計監査報告は湯本監事から次の通り監査結果の報告があり承認された。

昭和63年度の収支について、各種帳票ならびに証拠書類について監査したところ何れも綿密かつ正確に記録され適正であると認められた。

平成元年3月13日 監事 湯本和司

なお、今期は事務局の都合により3月13日で会計を締切り、監査を受けたものである。

議題 3) 平成元年度事業計画案

(1) IUFRO-J NEWSの発行

No. 36, No. 37, No. 38, No. 39

(2) 第19回ユフロ世界大会へ向けての活動計画案

1. 参加者への助成金	3,270千円
2. 開発途上国への援助金	1,000
3. ユフロ世界大会参加募集経費	100
4. ユフロ世界大会特集号(2回)	600
5. 特別講演等翻訳料	30
	5,000

この活動計画案は、前回第18回大会(ユーゴスラビア)の際の計画を基本的に踏襲するものである。

議題 4) 平成元年度予算案

(1) 一般会計予算案(別掲の通り)

(2) 特別会計予算案(")

なお、特別会計予算案の中のABC区分は預金証書種別によるものであり、新規Eは63年度に徴集した会費の繰越金の一部である。

(事務局)

(収入の部)

平成元年度予算(案)

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1,066,992	
会費		
6年度未納分	34,000	
平成元年会費	1,023,000	
A 会費	943,000	
B 会費	75,000	
C 会費	5,000	(前納者1名)
雑収入	1,000	
合 計	2,124,992	

(支出の部)

平成元年度予算(案)

科 目	金 額	備 考
情報活動費	800,000	IUFRO-J NEWS NO.36~39の印刷、発送
会議費	120,000	63年度機関代表会議、平成元年度幹事会
旅費	400,000	理事会出席補助
雑費	50,000	
予備費	50,000	
次年度への繰越	404,992	
特別会計へ繰入	300,000	
合 計	2,124,992	

平成元年度特別会計予算(案)

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金 A	6,203,829	
” B	838,110	
” C	1,265,970	
” D	485,418	
新規 E	300,000	
税引利息予算額	233,000	
合 計	9,326,327	

“第19回ユフロ世界大会”

XIX IUFRO WORLD CONGRESS Montreal Canada 1990

13か月後にせまった本大会の講演、ポスターの準備、予備登録方法等についての詳細が、次号 IUFRO-NEWS No. 63 に掲載される見込みです。

USA: P. K. Khanna, Australia) -11 土壤物理性 (H. A. Froehlich, USA; H. Fühler, Switzerland; R. Sands, Australia) -12 土壤生物学 (R. L. Edmonds, USA) S1.03.00 環境影響 (K. L. Perttu, Sweden; R. C. Pierce, USA) -01 大気環境 (A. Hocevar, Yugoslavia; F. X. Dunin, Australia; L. W. Gay, USA; L. Molton, UK) -02 森林水文学 (H. Grip, Sweden; W. P. Lima, Brazil; A. B. Momodu, Nigeria; 塚本 良則・東京農工大農) S1.04-00 溪流浸食、洪水、泥流、雪害、雪崩の防止と抑制 (R. M. Rice, USA; G. Kronfleiner-Kraus, Austria) -01 溪流浸食とその抑制 (D. Kotoulas, Greece; 石橋 秀弘・岩手大農) -02 雪害と雪崩 (新田 隆三・森林総研; W. Frey, Switzerland; J. Rychetnik, Switzerland) -03 地すべりとその安定化 (C. O' Loughlin, New Zealand; 世 賀 一郎・北大演習林) -04 流域管理による浸食の防止 (M. Djorovic, Yugoslavia; R. R. Ziemer, USA) S1.05-00 森林の造成、施業、改良 (D. Auclair, France; H. Dolinsek, Yugoslavia) -01 泥炭地林業 (J. Paivänen, Finland; F. H. Braekke, Norway) -03 若齢林の施業 (H. Thomasius, Germany (DR); J. Zajaczkowsky, Poland) -04 森林植物区分 (P. K. Räsänen, Finland) -05 間伐・密度管理試験 (H. Bryndum, Denmark; P. Abetz, Germany (FR)) -06 多目的造林 (D. Marquis, USA) -08 天然林の更新 (M. Leikola, Finland; P. Piusi, Italy) -09 低林作業と樹種転換 (S. Matic, Yugoslavia; S. Datis, Greece) -10 短伐期単一樹種萌芽林 (D. Auclair, France; A. Ferm, Finland) -11 シーター造林の強化 (H. Aksoy, Turkey) -12 北方林の造林・管理 (E. Packee, USA) -13 防風林 (N. W. Baer, USA) S1.07-00 熱帯造林 (P. J. Wood, UK; M. Corbasson, France; Hon Tat Tang, Malaysia) -05 熱帯雨林の天然更新 (H. F. Maitre, France) -08 ヲンブロー造林 (M. L. Generalao, Philippines; H. T. Chan, Malaysia) -09 ラチン・アメリカの造林 (R. Salazar, Costa Rica) -13 フゾフ・太平洋地域の造林 (K. Yabaki, Fiji) -14 フリカの造林 (P. J. Koyo, Congo) -15 乾燥・半乾燥地域の造林・管理 (O. Hamel, Niger) -16 ヲクソ (N. Manokaran, Malaysia) -17 フマバキ科の生物多様性 (Gema Maury-Lechon, France) S1.08-00 野生生物とその生息地 (H. Gossow, Austria; J. M. Sweeney, USA) -01 野生生物生息地評価 (P. W. Driscoll, Australia) -02 野生生物管理 (J. Squires, Australia) -10 土壌化学 (R. Zasoski, Africa; L. Allen, USA; St. P. Gessel, USA; R. O. Schütz, South Africa) (C. J. Schütz, South Africa) -09 林地生産力の維持・増進 (J. B. Reemtsma, Germany (FR)) -09 Canada; 川名 明・東京農大; Marie J. Lambert, Szodfridt, Hungary) -08 葉分析 (G. Weetman, Canada; I. Grey, South Africa; K. Klinika, Canada; I. D. C. van Grönouud, Canada; D. C. Malcolm, UK; J. Turner, Australia) -06 立地 (Finland) -05 人為の影響 (D. W. Cole, USA; D. E. Malikönen, Australia; E. Malikönen, H. G. Miller, UK; I. Szodfridt, Hungary) -01 (W. Kilian, Austria; 有光 一彦・森林総研関西支所; Netherlands; Ph. A. Mason, UK) S1.02-00 立地 (W. Kramer, Germany (FR)) -09 森林動態 (J. Fanta, UK) ヲロヒフ・ツルバー・フラーの生息地と造林 (Franklin, USA) -07 自然公園、国立公園、天然林 (J. F. Franklin, USA) (R. A. A. Oldemann, Netherlands) -06 熱帯・亜熱帯森林生態系 (E. Brünig, Germany (FR); B. Anko, Yugoslavia; W. Vos, Netherlands) -05 景観生態学 (Stern, Austria; Th. Spies, USA) -02 山岳部における造林問題 (W. Rachoy, Austria; Klinka, Canada) -01 原生林 (H. Mayer, Austria) Brünig, Germany (FR); J. Fanta, Netherlands; K. J. L. Whitmore, USA S1.01-00 森林生態系 (E. Paavilainen, Finland; J. Kikkawa, Australia; E. Paavilainen, Finland; J. F. Helfried Oswald, France) 副コフ49

<DIVISION 1 > 森林環境と造林
 Oscar Fugalli, Austria
 Italy 発展途上国特別プロジェクト(SPDC)コーディネーター
 China (PR) F A O 代表 Marco A. Flores Rodas, Riccardo Morandini, Italy; Ding-Xuan Wang, James Cayford, Canada; Imant Levin, USSR;
 総研; Alan G. Brown, Australia
 Mexico; Jeff A. Odera, Kenya; 小林 富士雄・森林 Richard A. Skok, USA; Ramon Echenique-Manrique, Czechoslovakia; Alejandro Lopez de Roma, Spain; Eric Teissier du Cros, France; Jiri Skoblik, Yugoslavia 事務局長 Heinrich Schmitzenhofer, Austria 地域理事 Padraic M. Joyce, Ireland; Sallah, Malaysia 前会長 Dusan Minisek, 会長 Robert E. Buckman, USA 副会長 MohdNor <役員>

I U F R O の役員構成

- M. Sweeney, USA) -03 野生生物への人間の影響 (H. Gossow, Austria) S1.09-00 森林火災研究 (R. E. Martin, USA; J.G. Goldammer, Germany(FR); T. Karlikowsky, Poland; R. V. Munoz, Spain)
- 01 焼き払い (J.-C. Valette, France; A. Koonce, USA) -02 森林火災の防止 (R. Velez-Munos, Spain; R. Donoghue, USA) -03 森林火災消火法 (T. Karlikowski, Poland; C. W. George, USA) P1.05
- 00 都市林 (J. F. Dwyer, USA; N. A. Leek, Netherlands; H. Volk, Germany(FR)) P1.06-00 オークの育種と造林 (G. Kenk, Germany(FR)) P1.07-00 亜高山帯の生態 (Y. Liang, China(PR); 藤森隆郎・森林総研; H. Turner, Switzerland; R. H. Waring, USA) P1.09-00 エネルギー・バイオマスの統合的研究 (L. Zuffa, Canada; L. Sennerby-Forsse, Sweden; C.P. Mitchell, UK) P1.10-00 ブナの育種と造林 (H. -J. Muhs, Germany(FR); Sonja Horvat-Marolt, Yugoslavia) P1.11-00 地中海灌木生態系 (M. Ellatifi, Morocco) P1.13-00 除草剤 (H. Frochet, France; A. Dohrenbusch, Germany(FR); D. Gjerstad, USA) P1.14-00 択伐林 (K. Stoszek, USA) P1.15-00 アグロフォレストリー (B. Lindgren, Kenya; G. Budowski, Costa Rica; P. K. Khosla, India)
- <DIVISION 2> 森林植物と森林保護
- コーディネータ Jeffery Burley, UK 副コーディネータ W. Baltensweiler, Switzerland; H. -H. Chung, China (R); H. B. Kriebel, USA S2.01-00 生理学 (M. Giertych, Poland; M. G. R. Cannell, UK; F. D. Ford, USA; 勝田 柁・森林総研) -05 繁殖過程 (Rose-Marie Rauter, Canada; W. Chalupka, Poland; O. Okoro, Nigeria) -08 世界樹木生理研究者ディレクトリー (S. B. Horsley, USA) -11 若枝成長生理学 (D. Lavender, USA; M. G. R. Cannell, UK; A. C. H. Little, Canada; S. Hallgren, USA)
- 12 樹冠生産過程 (J. G. Isebrands, USA; R. Ceulemans, Belgium; 藤森 隆郎・森林総研) -13 根系生理学と共生微生物 (J. Garbaye, France; Kristine Vogt, USA; N. Malajczuk, Australia)
- 14 寒冷・乾燥耐性 (R. W. Tinus, USA) -15 個体レベルの植物生理学 (R. J. Luxmoore, USA; P. Hari, Finland; J. J. Landsberg, Australia; J. S. Pereira, Portugal) S2.02-00 産地、育種、遺伝資源 (R. D. Barnes, UK; M. Arbez, France; St. L. Krugman, USA) -02 遺伝資源の同定と保存 (B. Styles, UK; B. A. Ota-Adams, Nigeria) -03 種のモノグラフ (M. Vidakovic, Yugoslavia) -05 ベイマツの産地と育種 (O. Sziklai, Canada; W. Ruetz, Germany(FR)) -06 コントラ・マツの産地と育種 (D. Lindgren, Sweden; D. F. W. Pollard, Canada) -07 カラマツの産地と育種 (H. Weisgerber, Germany(FR); 三上 進・森林総研東北支所) -08 熱帯樹種の産地と育種 (G. L. Gibson, Honduras; F. Moriondo, Italy; G. D. Nikles, Australia) -09 ユーカリの産地と育種 (G. van Wyk, South Africa; A. L. Griffin, Australia) -10 ポプラの産地と育種 (C. W. S. van Kraayenoord, New Zealand; V. Steenackers, Belgium; L. Zuffa, Canada) -11 ノルウェー・トウヒの産地と育種 (L. Paule, Czechoslovakia; V. Enescu, Romania; A. König, Germany(FR); M. Werner, Sweden) -12 シトカ・トウヒの産地と育種 (J. O'Driscoll, Ireland; Ch. C. Ying, Canada) -13 地中海針葉樹の産地 (P. Ferrandez, France; C.P. Panetsos, Greece; A. Tocci, Italy) -14 モミの産地と育種 (A.M. Fletcher, UK; J.F. Franklin, USA; S. Gunia, Poland) -15 五葉マツの産地と育種 (P. Garrett, USA; K. Holzer, Austria; K. J. Lee, Korea) -16 採種園 (R. Weir, USA; D. Chavez, Brazil) -17 遺伝学者・林木育種者世界ディレクトリー (T. F. Ledig, USA) -18 ヨーロッパ・アカマツの産地と育種 (C. Matyas, Hungary; J. Oleksyn, Poland) -19 ラディアータ・マツの産地と育種 (R. D. Burdon, New Zealand; A. C. Matheson, Australia) -20 サザン・パインの育種 (F. E. Bridgewater, USA; N. P. Denison, South Africa; N. Y. N. Yao, China; K. B. Yim, Korea) -21 森林繁殖資源立法 (H. J. Muhs, Germany, FR; R. Faulkner, UK; P. Krutzsch, Sweden) -22 Quercus の育種 (A. Kremer, France; P. S. Savill, UK) S2.04-00 遺伝学 (H. Hattemer, Germany(FR)) -01 個体群・生態遺伝学 (H. R. Gregorius, Germany(FR); F. C. Yeh, Canada) -02 育種理論と次代検定 (J. Kleinschmit, Germany(FR)) -05 生化学遺伝学 (D. Rudin, Sweden; W. T. Adams, USA; Ph. Baradat, France) -06 分子遺伝学と細胞遺伝学 (S. M. Greenwood, USA; P. Gustafsson, Sweden) -07 体細胞遺伝学 (M. R. Ahuja, Germany(FR)) S2.05-00 病虫害抵抗性 (K. von Weissenberg, Finland; H. S. McNabb, USA) -01 マツのこぶ病抵抗性 (G. I. McDonald, USA) -02 ニレの病虫害抵抗性 (H. M. Heyenbroek, Netherlands) -03 ポプラ

の病虫害抵抗性 (G. Cellerino, Italy) -04 マツの *Melampsora pinitorqua* 抵抗性 (B. R. Stephan, Germany(FR)) -06 植物の抵抗性機構 (W. J. Mattson, USA; Colette Bernard-Dagan, France)

S2.06-00 病理学 (L. Dimitri, Germany(FR); H. R. Powers, USA) -01 根腐れ・根株腐朽病 (G. A. Kile, Australia; D. Morrison, Canada) -02 針葉樹の胴枯れ・枝枯れ病 (B. Stephan, Germany(FR); T. Kurkela, Finland) -04 針葉・葉の病害 (W. Merrill, USA; Ursula Heininger, Switzerland) -05 宿り木 (D. V. French, USA) -06 道管病 (C. M. Brasier, UK; L. G. Lanier, USA) -09 林木のマイコプラズマ・ウイルス病 (S.P. Raychaudhuri, India; 小林 享夫・前森林総研) -10 マツのさび病 (H. R. Powers, USA; Y. Hiratsuka, Canada) -14 広葉樹の胴枯れ・樹皮病 (D. R. Houston, USA; D. Wainhouse, UK) -15 熱帯植林地の病害 (D. Kumar, India; A. U. Ofong, Nigeria)

S2.07-00 昆虫学 (M. W. McFadden, USA; A. S. Isaev, USSR; T. Y. Pong, Malaysia; J.H. Schönherr, Germany(FR)) -01 球果・種子害虫 (A. Roques, France; G. DeBarr, USA) -03 森林回復に影響する害虫 (R.I. Alfaro, Canada; B. Langström, Sweden) -05 キクイムシの総合防除 (T. L. Payne, USA; H. Saarenmaa, Finland) -06 森林昆虫の個体群動態 (F. P. Hain, USA; P. Grijpma, Netherlands; N. J. Mills, UK) -07 熱帯林の防護 (K. S. S. Nair, India; H. Schmutzenhofer, Austria; C. Hutacharern, Thailand; M.O. Akanbi, Nigeria; J.H. Pedrosa-Macedo, Brazil) -08 森林のタマバエ (J. N. Baranchikov, USSR; Je Ho Ko, Korea(Rep.); D. M. Benjamin, USA) -09 苗畑の病虫害 (J.R. Sutherland, Canada; B. Brown, Australia)

P2.02-00 早生樹種造林の生産力 (Division 1、3、4、5共) (C. Barneoud, France) -01 ユーカリの生産力 (R. N. Cromer, Australia; A. P. G. Schoenau, South Africa) -02 針葉樹の生産力 (M. Bailly, France) -04 窒素固定木の生産力 (J. L. Brewbaker, USA) -05 モクマオウの生産力 (M. H. El-Lakany, Egypt; Y. Dommergues, France; T. Thompson, Australia)

P2.04-00 種子問題 (F. T. Bonner, USA; Suree Bhumibhamon, Thailand; K. Kamra, Sweden) - P2.05-00 大気汚染の森林生態系に与える影響 (Satu Huttunen, Finland; D. Grill, Austria; S. Linzon, Canada) -01 分析と評価 (K. Stefan, Austria; H. Lux, Germany(FR); 横堀 誠・茨城県林試) -02 モニタリング (J.

Mooi, Netherlands; J. S. Kim, South Korea) -03 生化学的・生理学的側面 (H.-J. Jäger, Germany(FR); G. Halbwachs, Austria; D. T. Tingey, USA) -04 土壌生物、根圏、養分吸収 (H. Flühlre, Switzerland; P.H. Freer Smith, UK; T. Ingestadt, Sweden) -05 大気汚染の遺伝学的側面 (F. Scholz, Germany(FR); D. F. Karnosky, USA; R. Siwecki, Poland) -06 生物学的ストレスの相互作用、野生生物・生態系への影響 (W. Grodzinsky, Poland; E. Donaubaer, Austria) -07汚染地域における造林 (V. Tesar, Czechoslovakia; L. G. Lanier, France) -08 汚染地域の木材組織と材質 (D. Eckstein, Germany(FR)) -09 大気汚染と林政 (E. Nieblein, Germany(FR))

<DIVISION 3> 森林作業・技術

エーネーテ Per Olov Nilsson, Sweden 副エーネーテ T. C. Bjerkelund, Canada; P. Hakkila, Finland; S. C. Wu, China (R) S3.01-00 林木の収穫、集材、造材作業 (G. Mahler, Germany(FR); V. L. Bojak, USSR; E. Mikkonen, Finland; 南方 康・東大農) -01 林木収穫 (F. E. Biltonen, USA; J. E. Galbraith, New Zealand) -06 集材 (M. Larsson, Sweden; I. Herpay, Hungary) -07 林木集中プロセッシング (R. Grammel, Germany(FR); D. Brière, replaced by D. Y. Guimier, Canada) -08 林木の収穫と利用 (M. Kärkkäinen, Finland; H. J. Wiperman, Germany(FR)) S3.02-00 造林・保育作業技術 (L. Riley, Canada; V.B. Chernyishev, USSR) -01 造林作業 (S. Berg, Sweden; A. R. D. Trewin, New Zealand) -02 保育作業 (M. K. Joos, Germany(FR); W. Flöhr, Germany(DR)) -03 苗畑作業 (R. W. Tinus, USA; H. P. Lang, Austria) S3.04-00 作業計画・管理; 作業研究 (T. J. Corcoran, USA; W. Heij, Netherlands) -01 計画・管理 (S. Tomanic, Yugoslavia; E. W. Robak, Canada) -02 作業研究; 支出、労働生産性 (R. Skaar, Norway; P. N. Efthymiou, Greece; J. Rickards, Canada) S3.05-00 熱帯における森林作業 (D. P. Dykstra, USA; T. Kaewlaiad, Thailand; J. R. Malinowski, Brazil; R. E. L. Ole Meiludie, Tanzania) S3.06-00 山岳林森林作業 (H. D. Löffler, Germany(FR); S. Bojanin, Yugoslavia; G. Brown, USA) -01 山岳林開発可能性 (F. Pfister, Switzerland; 大河原 昭二・岩手大農) -02 山岳林収穫 (J. Sessions, USA; T. Lisland, Norway; A. Trzesniowski, Austria) P3.01-00 収穫と木

材エネルギー (R. A. Arola, USA; B. O. Danielsson, Sweden; C. P. Mitchell, UK) P3.03-00 労働科学 (S. A. Axelsson, Sweden; P. L. Cottell, Canada; F. J. Staudt, Netherlands) -01 物理的作業環境 (E. Apud, Chile; 大里 正一・東京農工大農) -02 社会心理的問題 (P. Harstela, Finland; Z. Jablonkay, Hungary) -03 健康と安全 (B. Petterson, Sweden; V. Butora, Switzerland) -04 木材産業における労働科学 (R. Juvonen, Finland; C. Boye, Denmark) P3.04-00 小規模林業 (Division 1、4 共) (H. Heding, Denmark; H. Brandl, Germany(FR); W. H. Emmingham, USA) P3.05-00 樹木葉の収穫と利用 (M. O. Daugavities, USSR)

<DIVISION 4> 資源調査、成長、収穫量、経営システム
コーディネータ Harold F. Kaiser, USA 副コーディネータ E. Gundermann, Germany(FR); 木平 勇吉・信州大農
S4.01-00 測定、成長・収穫量 (H. E. Burkhart, USA; K. Johann, Austria) -03 試験の計画、実行、評価 (T. Preuhsler, Germany(FR); A. Tham, Sweden) -04 樹木・林分の成長シミュレーション・モデル (J. M. Ottoroni, France; A. V. Revilla, Philippines) -06 森林計測の器具と方法 (D. S. Solomon, USA; F. Andrae, Austria) S4.02-00 森林資源調査 (H. G. Lund, USA; S. Pellico-Netto, Brazil; St. Smelko, Czechoslovakia; J. C. Clément, France) -01 熱帯における資源データ (A. B. Temu, Tanzania; S. L. Chao, China; M. C. Deloya, Mexico) -02 多目的資源調査 (G. Bonner, Canada; G. Preto, Italy; B. Husch, Chile) -03 継続的森林資源調査 (Ph. G. Adlard, UK; M. J. Bouchon, France; Y. Ch. Yang, China(R)) -04 地理・経営情報システム (J. Rondeux, Belgium; 箕輪 光博・東大農; M. Hansen, USA) -05 リモートセンシングを利用した森林資源調査 (S. Poso, Finland; S. Wacharakitti, Thailand; L. Liugu, China (PR)) S4.04-00 森林経営計画・経営経済学 (O. Griess, Austria; D. Cestar, Yugoslavia; A. Priesol, Czechoslovakia; P. Schram, Luxembourg) -01 林分資源調査 (W. Sagl, Austria; G. Gaspar-Hantos, Hungary) -02 立地型と経営目標 (J. Rupprich, Czechoslovakia; H. Jöbstl, Austria) -03 森林の機能を考慮した経営法 (J. Smykala, Poland; M. Janculesku, Romania) -04 経営経済学と計画システム (W. R. Leuschner, USA; W. D. Klemperer, USA) -05 森林経営のための作業計画法 (天野 正博・森林総研関西支所) -06 短伐

期用材林の経営計画と経営経済学 (K. v. Gadow, South Africa) S4.07-00 森林の社会的・経済的側面 (R. Guldin, USA; 熊崎 実・筑波大) -01 発展途上国における林業と農村の発展 (D. Rose, USA; N. Byron, USA) -02 林業発展の社会的側面 (W. Burch, USA; R. de Camino, Costa Rica) -03 統合的流域管理の経済学 (K. G. Tejuani, Nepal; H. M. Gregersen, USA) -04 多機能林業の経済的評価 (Z. Bludovsky, CSR; G. L. Peterson, USA) -05 森林被害の経済的評価 (S. Nilsson, Sweden; J. E. de Steiguer, USA; W. Kroth, Germany(FR)) -06 丸太の国内需給 (M. Tervo, Finland; P. Bartelheimer, Germany(FR)) -07 先進国における林業と農村の発展 (B. Ager, Sweden; J. Smyth, Canada) S4.08-00 林政、法律、行政 (P. Glück, Austria; V. P. Järveläinen, Finland) -01 林政と計画評価 (I. Tikkanen, Finland; C. Risbrudt, USA) -02 森林団体・森林行政機関 (P. Ellefson, USA; M. Krott, Austria) -03 森林法と関連法 (F. Schmithüsen, Switzerland; W. Siegel, USA) -04 組織的土地利用と林政 (P. Harou, USA) P4.02-00 間伐の経済学と収穫 (H. Knutell, Sweden; I. Levin, USSR; H. Kramer, Germany(FR)) -01 間伐と機械化 (M. Siren, Finland; H. Froehlich, USA; 藤森 隆郎・森林総研; M. Lofthouse, UK; L. Vaughan, New Zealand) -02 密度管理・間伐の経済学 (T. J. Rollinson, UK; G. Gallagher, Ireland; R. Solymos, Hungary; W. R. J. Sutton, New Zealand) P4.11-00 森林セクター分析 (L. Lönnstedt, Sweden; R. W. Haynes, USA; L. Kairiukstis, USSR)

<DIVISION 5> 林産

コーディネータ Robert L. Youngs, USA 副コーディネータ A. R. de Freitas, Brazil; H. Schulz, Germany(FR); F. O. Tesoro, Philippines S5.01-00 材質 (P. Baas, Netherlands; J. Bauch, Germany(FR); J. Wilkes, Australia) -01 木材形成 (Yvonne Trenard, France) -02 材質の自然変動 (P. Baas, Netherlands; 島地 謙・京大木材研) -04 木材特性の生物的改質 (J. P. van Buijtenen, USA) -05 最終用途に望まれる木材の性質 (R. L. Ethington, USA) S5.02-00 木材工学 (P. Hoffmeyer, Denmark; P. Glos, Germany(FR); B. Madsen, Canada) S5.03-00 木材保存 (J. N. R. Ruddick, Canada; J. Butcher, New Zealand; T. Vihavainen, Finland) -01 木材・木質材料の保存 (vacant) -02 パーテ

ィクルボード・複合材料の保存 (A. F. Preston, USA)
 -03 貯蔵中の木材保存 (S. A. E. Kandeel, Egypt;
 D. J. Dickinson, UK) -04 木材防火 (M. Kosik,
 Czechoslovakia; 石原 茂久・京大木材研) -05 生
 物劣化 (R. Eaton, UK; J. P. LaFage, USA) -07
 保存処理 (L. E. Leightley, USA) -08 耐久性 (G.
 R. Y. Déon, France) S5.04-00 木材加工 (R.
 Birkeland, Norway; H. Montrey, USA; J.
 Youngquist, USA) -06 木材乾燥 (H. N. Rosen,
 USA; T. Moren, Sweden) -07 接着剤と木材接着
 (A. Pizzi, South Africa; G. Elbez, France)
 -08 機械加工 (野口 昌巳・京大農; S. Holoyen,
 Norway) -10 生産システム (vacant) -11 木
 質複合材料 (J. Youngquist, USA; P. Sorfa, South
 Africa) P5.01-00 熱帯材の性質と利用 (Ch. Sales,
 France; W. W. Chong, Malaysia) P5.03-00 森林
 バイオマスのエネルギーとケミカルズ (W. T. Gore,
 South Africa; P. Y. H. Fung, Australia; R. W.
 Smith, USA) P5.04-00 竹と類縁種の生産と利用 (W.
 Hsiung, China(PR); C. B. Lantican, Philippines;
 内村 悦三・森林総研) P5.05-00 年輪解析 (G.
 Jacoby, USA) P5.06-00 林産物市場

<DIVISION 6> 社会・経済情報システム、政策科学
 コーディネータ Lars Strand, Norway 副コーディネータ A.
 Röder, Germany(FR); G. Stankey, Australia S6.
 01-00 森林景観、レクリエーション、観光 (H. Heytze,
 Netherlands; P. J. Brown, USA; N. E. Koch, Denmark)
 -01 資料、情報 (T. B. Knopp, USA; J. V. Oltremari,
 Chile) -02 景観管理と環境 (U. Ammer, Germany(FR);
 D. Campbell, UK; B. R. Litton, USA) -03
 景観計画研究 (G. H. Elsner, USA; H. Aoki, Brazil)
 -04 社会研究 (B. Driver, USA; Chaw-Ming Chen,
 China, R; H. Kroon, Netherlands) -05 レクリエ
 ーション・景観研究の政策・管理への応用 (St. F.
 McCool, USA; A. Reunala, Finland) S6.02-00 統
 計的手法、数学、コンピュータ (G. Z. Gertner, USA;
 D. Pelz, Germany(FR)) S6.03-00 林学関係情報シ
 ステム (W. Finlayson, UK/Nepal; H. Tremblay,
 Canada) S6.05-00 リモートセンシング (J. A.
 Howard, FAO; V. Zsilinszky, Canada; 大貫 仁人・森
 林総研; D. Stellingwerf, Netherlands) S6.06-
 00 森林研究の管理 (D. Burns, USA; D. Kiil, Canada)
 -01 森林研究の評価 (R. Z. Callahan, USA; L.
 Huguet, France) S6.07-00 森林・林業史 (H.
 Steen, USA; G. Buttoud, France; A. Schuler,

Switzerland) -01 熱帯森林史 (R. Tucker, USA;
 J. Dargavel, Australia) -02 環境史 (H. Rubner,
 Germany(FR)) -03 木材貿易史 (J. Ahvenainen,
 Finland) S6.08-00 森林研究結果の応用 (G.
 Moeller, USA; Margriet Theron, New Zealand)
 S6.09-00 森林研究の方針と方法 (R. A. Leary, USA;
 R. A. A. Oldeman, Netherlands) -01 造林の教育
 と研究 (R. A. A. Oldeman, Netherlands) P6.01-
 00 森林十進分類体系 (F D C) (Regina Schenker,
 Switzerland; Maria Zorn, Yugoslavia)

<備考>

S: Subject Group. P: Project Group. ()内は
 Subject Group Leader, Deputy Subject Group Leader,
 Project Group Leader, Deputy Project Group Leader,
 Working Party Chairman, Working Party Cochairman,
 Divisional Coordinator の連絡先: Helfried Oswald;
 Institut National de la Recherche Agronomique,
 Station de Sylviculture méditerranéenne, 12,
 Avenue Antoine Vivaldi, F-84000 Avignon, France :
 Jeffery Burley : Oxford Forestry Institute,
 University of Oxford, South Parks Road, Oxford
 OX1 3RB, UK : Per Olov Nilsson : Sveriges
 Lantbruksuniversitet, Skogsvetenskapliga Fakul-
 teten, Institutionen foer Skogsteknik, S-770 73
 Garpenberg, Sweden : Harold F. Kaiser : USDA
 Forest Service, P.O.Box 96090, Washington D.C.
 20090-6090, USA : Robert L. Youngs : Department
 of Forest Products, School of Forestry and
 Wildlife Resources, Virginia Polytechnic Insti-
 tute and State University, Blacksburg, Virginia
 24061, USA : Lars Strand : Norsk Institutt for
 Skogforskning, P.O.Box 61, N-1432 Aas-NLH, Norway
 他の役員、Coordinator, Leader, Chairman 等への連絡
 先は、IUFRO News No.55 (1/1987) (IUFRO -
 Leaders and Organization) および IUFRO News
 No.56 - No.62 の NEW ADDRESS 欄等を参照。不明の場
 合は事務局へお問い合わせください。

(森林総研・藤井 久雄)

IUFRO-J NEWS No. 37

平成元年 6 月 30 日

編集・発行: 国際林業研究機関連合

日本委員会事務局